



● 朝日新聞厚生文化事業団 高齢者への暴力防止助成

【申込受付期間】平成24年1月17日(火)必着
【助成対象】地域で活動する高齢者サークル、高齢者支援グループ、団体など
【助成金額】総額1,000万円
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください
【問い合わせ】朝日新聞厚生文化事業団

● 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金助成金

【申込受付期間】平成24年1月25日(水)必着
【助成対象】環境保全活動を行う非営利団体
【助成金額】1件/50~400万円
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください
【問い合わせ】独立行政法人環境再生保全機構

● 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

【申込受付期間】平成24年1月31日(火)必着
【助成対象】東日本大震災で被災された方々への支援活動を行う団体
【助成金額】①短期(1ヵ月未満)の活動の場合:50万円以内
②中長期(1ヵ月以上)の活動の場合:300万円以内
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください
【問い合わせ】社会福祉法人 中央共同募金会企画広報部

松阪市からのお知らせ

男女共同参画松阪フォーラム ~人・まち・夢の集い~

【日 時】平成24年2月4日(土) 9:30~15:00
【会 場】松阪市産業振興センター(松阪市本町2176)
【入場無料】※託児あり(申込み1月20日(金)締切)
【問い合わせ】松阪フォーラム実行委員会事務局
TEL:0598-53-4339
【主 催】松阪フォーラム実行委員会・松阪市



センターからのお知らせ

◎ 年末年始センター休館のお知らせ
※新年は1月5日(木)より開館いたします。
平成23年12月30日(金)~平成24年1月4日(水)



ちょこつと編集後記.....

今年も残すところあと少しです。当センターも年末年始の準備でバタバタしています。皆様、良いお年をお迎え下さい。【M】

松阪発信! 市民活動の情報紙 AROMA
次号は2012年2月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2012年1月31日(火)です。 担当/三上・澤

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598・25・3801 予約専用 0598・26・0108 FAX 0598・25・3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用 会議室 大会議室.....机10 椅子30(600円)
小会議室1...机4 椅子12(150円)
小会議室2...机6 椅子18(200円)
小会議室3...机4 椅子12(150円)
料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室.....机8 椅子24(400円)
機材等 印刷機(紙持込)/コピー機
マイク/プロジェクター 他
会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
http://www.katsudou.com

▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.38



ボランティアグループ
今号は... 大正琴アンサンブルタマイ さんです



代表: 玉井孝子さん

本誌には尺八や琴、和太鼓などさまざまな楽器がある。その中で、大正琴は100万人の愛好家に親しまれている和楽器のひとつだ。また2012年は大正琴誕生から100年目を迎え、さらに注目が集まっている。今回お話を伺ったボランティアグループ大正琴アンサンブルタマイは「大正琴の演奏を通じて、地域の方に元気になってもらいたい」という思いで活動しているグループだ。代表の玉井孝子(たまいたかこ)さんは大正琴教室の講師を勤めており、その生徒20名とともに活動中。松阪市や津市の高齢者介護施設や幼稚園に慰問し、ボランティアで演奏を行っている。

玉井さんが大正琴と出会ったのは20年前のピアノ講師だったころ。「絶対に玉井さんに向いてるからやってみない?」という友人の一言がきっかけだった。全く馴染みのない楽器だったが、初めて聞いた大正琴の音色とアンサンブルの美しさに感激。大正琴の会「琴修会(きんしゅうかい)三重支部」の講師に指導を仰ぎ、2年後には指導者として活動を始めた。大正琴の魅力について、「グループでアンサンブルを奏でるところに醍醐味があります。ピアノのように1人で和音を作ることができないので、みんなの心がひとつになってハーモニーが生まれた瞬間が楽しい」と笑顔で語る玉井さん。ちなみにアンサンブルとはフランス語で“調和”を意味する。

グループでの慰問活動は月に1~2回。高齢者施設での演奏はメンバーにとって特に思い入れの強い活動となっている。哀愁を誘う大正琴の音色に合わせ「ふるさと」や「瀬戸の花嫁」などの懐かしい曲を演奏すると、施設の利用者はそれぞれの思い出と重ね合わせて聞き入り、中には涙を流して感動する人もいるという。また、このグループの魅力は慰問先で演奏を披露するだけでなく、みんなで一緒に歌える曲も演奏するところだ。事前にリクエスト曲を聞き、しっかり練習を重ねて本番に望む。大正琴の音色に合わせて歌ってもらうことで、会場はあたたかい一体感につつまれる。「演奏を楽しみにしてくれることは自分たちにとって励みになるし、決してお金には代えられない喜び」と玉井さん。こうした慰問先でのふれあい、ボランティア活動への強い原動力となっているようだ。



地域の行事での演奏活動の様子。



月2回の練習はメンバーの憩いの場にもなっています。

演奏活動の予定

「三雲町老人クラブ連合会」平成23年度2月芸能大会
●日 時 平成24年2月9日(木) 10:00~15:30
●会 場 ハートフル三雲いこいの間(松阪市曾原町2678)
●入場無料・申込み不要

ボランティアグループ 大正琴アンサンブルタマイ へのお問い合わせは...
taisyougoto.jimukyoku@gmail.com(事務局)

報告

# 第50回氏郷まつり出店 募金型チャリティーバザー を実施しました

寄付意識も向上?

11月3日(木・祝)、第50回となる「氏郷まつり」が開催されました。当センターも今年で連続6回目の出店となります。今回、当センターのブースでは「被災地の現状報告写真パネル展示」「募金型チャリティーバザー」「バルーンアート体験“ちゃちゃも”を作ろう!」の他、地元企業のCSR活動応援として「マックスバリュ中部(株)のマイバッグ作り」の出店サポートなどを行ないました。

## 募金型チャリティーバザー



ご提供いただいた皆様、本当にありがとうございました。

商品に金額表記をせず“1点の商品につき1回の募金”で実施したこのバザー。商品も全て、賛同者からの寄贈品でした。実はこのバザーにはひとつの試みがありました。「寄付者自身が金額設定する」ことで「寄付に対する意識向上」の狙いがあったのです。中には商品を受け取らず寄付だけしていただける方や、担当スタッフの「その笑顔に」と寄付をいただいた方もみえました。この地域の寄付文化定着に少しは役立ったのではないかと思います。このバザーの募金合計額は20,647円でした。募金にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

## バルーンアート体験“ちゃちゃも”を作ろう!

皆さんご存知のバルーンアート。普段よく目にするのは「犬」や「剣」ではないでしょうか?しかし、この日の風船は全て「緑色」。松阪のゆるキャラ“ちゃちゃも”を作るためです。参加した子どもたちにも大好評!ちゃちゃもの人気を再確認できました。このバルーンアート体験参加者にも募金をお願いし、7,579円の募金が集まりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。この日の募金総額28,226円は中央共同募金会などを通じて復興支援にあてられます。

## マックスバリュ中部(株)のマイバッグ作り

マックスバリュ中部(株)のマイバッグ作りも氏郷まつりでは恒例となりました。今年もご用意いただいた200枚分のバッグ素材を全て使い切る盛況ぶり。一時は行列ができる程でした。こうしたイベントに企業を招き、CSR活動を推進することで「企業姿勢を広く伝える」ことができれば、当センターでは5年ほど前から企業への参画を呼びかけています。今後も当センターではCSRにまつわる取り組みを推進していく考えです。



みんなの笑顔にスタッフも張り切っていました。



この“大気ぶり”はすでに氏郷まつり恒例となっています。

報告

# サステナビリティCSR検定 開催されました!

去る12月10日、第6回「サステナビリティCSR検定」が当センターで実施されました。この検定は国際規格ISO26000にも対応しており、企業、NPO、行政、自治会、学校などあらゆる組織がコミュニティとよりよくなるための手引きとなることから、さまざまな組織の方が受検されました。また、この検定は「豪商の街・松阪」にふさわしい内容とも言えそうです。松阪発祥の三井家、長谷川家などは、「地域社会から信頼を得る力」も持ち合わせていたことでしょう。つまり「三方よし(売り手よし・買い手よし・世間よし)」の考え方です。これはCSRと同義であり、永く続いた豪商はCSRにも意識が高かったはず。商いも地域づくりもサステナビリティ(持続可能性)の考えが欠かせません。あらゆる組織が一体となり、地域を支え合うとき、CSRは多くのヒントを与えてくれます。当センターは、これ以降もCSRの普及に力を入れてまいります。



## 被災地の現状報告写真パネル展示

前号のアロマでお伝えした東日本を視察したセンタースタッフの“生の声”を写真とともに展示しました。3.11直後の現地写真と対比させ、現地の近況を報告しました。



被災地への気持ちを忘れないよう展示していたと思います。

報告

# NPOのための広報スキルアップセミナー 「伝えるコツ」を身につけよう が開催されました

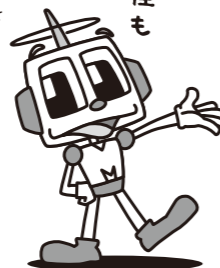


多くのNPOの永遠の課題ともいえる「広報力」。この課題解決のために東京の認定NPO法人日本NPOセンターと広告代理店最大手の電通がタッグを組んで実施しているのがこの広報スキルアップセミナーです。11月26日(土)に実施したこのセミナーには定員を越える申込みがありました。講師の軽快な口調や、充実したワークで6時間に及ぶセミナーもあっという間に終了。相手に情報を

「伝える」ためのコツをしっかりと学んでいただきました。今後も当センターでは「広報」にまつわる講座などを積極的に開催していきますので皆さん楽しみにしてくださいね。



講師は日本NPOセンターの常任理事兼、事務局長の田尻さん。分かりやすい事例に“納得”でした。



直近ではこんな講座も開催しますよ!

告知 募集

# 伝えるための書き描き講座 (デザイン編)

平成24年1月11日(水)、当センターにて、副センター長の澤(実はプロのデザイナーなのです!)が講師を務める“伝えるための書き描き講座(デザイン編)”「地域の瓦版を作ろう!」が開催されます。地域の魅力、地域行事のPRを瓦版という形で情報発信してみませんか?



受講特典

講座受講後に2週間の「特別指導機関」があります。受講後に作成された瓦版に対し、講師から個別アドバイスが受けられます。

- 平成24年
- 1月11日(水) 19:00~21:00 松阪市市民活動センター
- 1月18日(水) 19:00~21:00 松阪市飯南産業文化センター
- 1月25日(水) 19:00~21:00 松阪市中川コミュニティセンター
- ※当センターを皮切りに3つの会場で開催します。3会場とも内容は同じです。お近くの会場でご受講ください。
- 内容 デザイナーの視点から「見やすい情報の掲載方法」などをお話する予定です。
- 定員 各会場10名 ※お早めにお申込みください。
- 参加費 500円
- 申込み・問合せ先 件名を「地域の瓦版を作ろう! 受講希望」とし、「名前」、「住所」、「連絡先」、「受講日」をメール、FAX、電話のいずれかで下記までお伝えください。NPO法人Mブリッジ ネクストドア事業部(担当:福井)
- E-mail: info@m-bridge.jp FAX: 0598-25-3803
- TEL: 0598-23-8400 (平日10:00~18:00)

## 身近なCSRを探して vol.10

## 万協製薬株式会社

【事業内容】OEM(発注元企業のブランド商品を開発・製造すること)を中心とした外用薬製造業

全国から注目を集める秘訣は、社員と地域の強い絆にあり

不況の中でも右肩上がりに業績を伸ばし続けている企業、万協製薬(株)は、地域に根ざしたCSR活動にも積極的です。例えば、相可高校の生徒と協働したハンドクリーム開発や、老人施設へ出向き、自社製品を使ってボランティアのハンドマッサージなどを行なっています。こうした地域貢献活動に積極的に取り組む姿勢の根底には、社員同士、また社員と地域住人との強い絆があります。その絆を深めるための行事もユニーク。中でも「ダラソン※」は社内でも好評な事業です。これはダラダラ走るマラソンの略で「自分で決めた距離を楽しく走る」というものです。一見いいかげんな印象ですが、実はこの活動には(1)ゴミ拾いをしながら走ることで地域に貢献する、(2)社員間のコミュニケーションを促し、チーム力を高める、(3)一人ひとりの健康増進を図る、という3つの目的があります。松浦信男社長はこう言います。「地方の中小企業は、従業員や地域を積極的に元気にしていく存在になるべき。そうすればより多くの人から必要とされる会社になれる」。万協製薬(株)の好業績の秘密は、こうした社員間のコミュニケーションや地域との強い絆を大切にしている姿勢に隠されているのかもしれませんが。今後はこの地域での活動も検討されています。 ※「ダラソン」は5年前から毎月1回開催。一般の方も参加可能です。

【所在地】多気郡多気町五桂1169-142 【URL】http://www.bankyo.com/